

元祖 モリモリ書店

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校 読書だより

冬のはんまり、もしまだ
参加したい子があれば
声かけてくださいね。

第62話 R02.12.04(金)
『探しているものは
だいたい自分の中にある。』

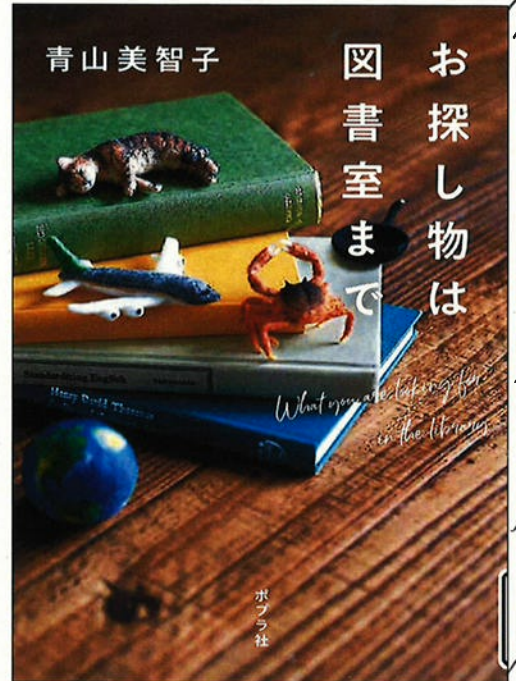
★今回、紹介する本は、『お探し物は図書室まで』（著/青山美智子、出版/ポプラ社）。

『木曜日にはココアを』など、ハートウォーミングなストーリーで人気の青山美智子さんの最新作。

この本には、5編の物語が入った連作短編集。それぞれの物語の主人公は、いずれも、仕事や子育て、夢などについて、何かしら悩みを抱えた人物たち。

そんな彼らの背中をそっと押してくれるのが、地域のコミュニティセンターにある図書室に勤務している女性の司書さん（マツコデラックス風味）。この司書の思いもよらない選書とかわいい付録で、それぞれの人生が少しずつ前に進み始めていきます。

『ぐりとぐら』などの有名な本が出てくるのも楽しいです。悩みを抱える人たちが、どのように立ち直っていくのか。心が温まって、人生がんばろうと思える1冊。ぜひ。



何かに悩めるのよ青山さん作の物語は、ぜひ読んでほしい！



『そういう縁は、いつか
やろうと、時が来るのを
待っていたら、めぐって
こないかもしれない。』
(p.104)

『書物そのものにカギ
があるというよりは、あなた
がそういう言えみ方を
した、という、そこに価値があるよ』
(p.165)